

介護保険事業計画に記載した「自立支援、介護予防又は重度化防止に関する取組と目標」
(令和5年度)について公表いたします

1 高齢者の能力活用と就労支援

【目標を設定するに至った現状と課題】

地域の日常生活に密着した就業機会の提供により、高齢者の社会参加を促進し、高齢者一人ひとりの生きがいの充実、健康の保持増進を図る。また、長期的目標として、地域社会の活性化、医療費や介護費の削減などに貢献していきたい。しかし、就業内容の需要と供給とのバランスや技術の向上への課題など安定的事業運営の必要がある。

【設定した主な取組及び目標・実績】 ※ 可能な限り数値目標をあわせて記載してください。

【取組】・シルバー人材センターへの入会の促進のため、広報や活動内容の周知、啓発活動を行い、会員数の増加を図る。

【目標】・シルバー人材センターの会員数 R5 485名

【実績】・シルバー人材センターの会員数 R5 430名

【取組により得られた効果(アウトカム)または今後期待される効果】

健康の保持増進、長期的目標として、地域社会の活性化、医療費や介護費用の削減などが期待される。

【自己評価及び今後の方針】※5段階で評価(S・A・B・C・D)

自己評価 A

会員数において目標に達していないが、就業率や就業延人数は増加傾向にあるため、一定の効果は得られたことから、A評価とした。

2 人生百年時代を見据えた健康づくり

【目標を設定するに至った現状と課題】

高齢者の介護予防の取組のひとつとして、各種体操の指導者を増やすことで、高齢者が体操を親しむ機会が増え、ひとりひとりに適した体操の指導が行われるようになる。高齢者が体操に接する場の確保に努めている。

【設定した主な取組及び目標・実績】 ※ 可能な限り数値目標をあわせて記載してください。

【取組】

・シルバーリハビリ体操指導士3級養成事業の実施。

・スクエアステップリーダーの会の実施

【目標】

・各種体操の指導者数 R5 232名

【実績】

・各種体操の指導者数 R5 193名

【取組により得られた効果(アウトカム)または今後期待される効果】

・取組の継続により、活動への理解と関心が高まり参加者数は増加傾向となった。また、人数の増加に伴い様々な意見や要望が予想されるが、これらを整理し適正に対応することで、円滑な運営が保たれ目的達成が見込まれると思われる。

【自己評価及び今後の方針】※5段階で評価(S・A・B・C・D)

自己評価 A

評価理由: 前年度に引き続き目標の80%を超える実績を得たためA評価とした。

今後の方針: 積極的に周知活動及び養成事業等を計画的に実施し活動を推進する。